

「R元年台風19号による堤防決壊と浸水被害、

復旧・再生活動 in 東松山市」

環境アドバイザー

渡辺 仁

対象 防災・環境保全ボランティアの方々30人

所要時間



約2.5時間

場所 熊谷市市民活動センター

実施時期

令和2年11月1日

概要

NPO くまがやでは、今年3月に予定していた防災・環境保全の交流会を、Withコロナの中で、オンライン型参加も出来る「ハイブリッド型」で開催しました。

テーマは、①県内で大きな台風被害があった、東松山地域の復旧・再生状況
②気象予報士からの事例解説とハザードマップ③地域防災士からの防災計画等。

プログラムの
ねらい

R2年度は、大きな台風が到来していませんが、コロナ感染拡大予防にも気を使いながらの避難が想定されるなど、防災や復旧に関する情報を共有し、平時でのつながり(共助)をつくるための交流会を開催した。

プログラムの内容

1: 3名の話題提供(約2時間)

- ① 建設部門 技術士 : 渡辺 仁 (比企の川づくり協議会 代表)
- ② 気象予報士 : 下山 紀夫さん
- ③ 中西地区防災士 : 代 正人さん

2: 意見交換会(約30分)

参加者・オンライン参加者全員による質疑応答
" 意見交換

受講者の反応

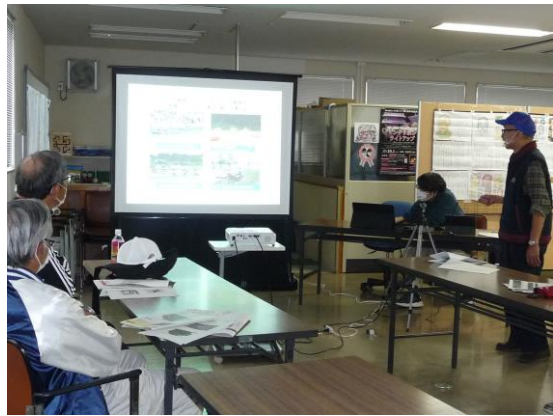
(ZOOM参加者を含め、約30人)

- ・隣接する東松山市の具体的被害状況と、市民・ボランティアによる復旧活動に関心が高まった。
- ・「自助」と「共助」の実例紹介に大いに関心が集まった。特に自治会の役割など。
- ・「公助」は、国土交通省、県土整備事務所、市役所などの緊急治水対策プロジェクトの遅れが目立っており、被災地復興再建で他地域への移転希望が見られていることに不安を感じていた。

環境学習の様子（市民活動センター内にて）



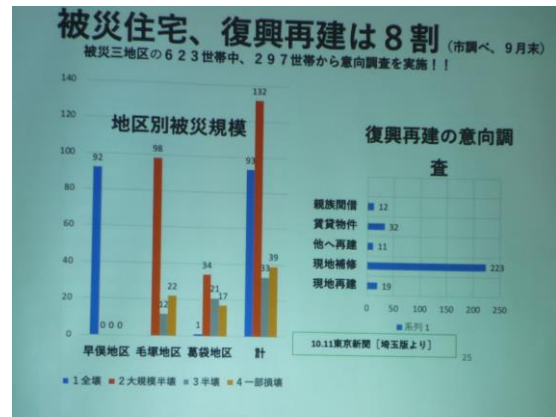
PPT34 ページ分 の標題



渡辺による浸水被害のプレゼン(ZOOM 使用)



渡辺による復旧活動のプレゼン



R2年9月末現在の、復興再建現状



参加者全員での意見交換会



洪水被災地見学会のポスター展示